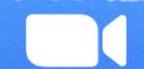


2月15日(土)  
14:00-16:00

# 奄美と喜界島のグスク

オンライン開催



Zoomウェビナー

## 研究概要

【2024年度 沖縄大学共同研究班】

研究名:琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究

研究分野:歴史学・社会学・考古学

対象地域:琉球弧全般(奄美・沖縄・八重山)

研究内容:現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷(特に近世と近代)を考古学と歴史学と社会学の視点から明らかにする。

2024年8月に行った奄美大島および喜界島のグスクと墓調査の報告を行う。奄美にもグスクが存在するが、その特徴とは何かを沖縄本島との比較で報告する。奄美・沖縄のグスク時代は現在の沖縄の村落および村落共同体に直接繋がると考えられる。その本質を考察する。

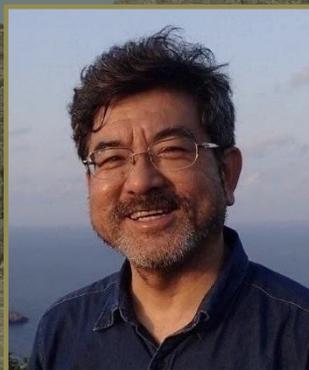
## プログラム

14:00-14:10 開会挨拶・研究メンバー紹介(宮城)

14:10-15:30 グスク調査報告

15:30-15:55 沖縄共同体の源流を考える(鼎談)

15:55-16:00 質疑応答・終了



(司会)宮城 能彦 みやぎ よしひこ  
沖縄大学人文学部こども文化学科  
教授



武部 拓磨 たけべ たくま  
岡山県出身。琉球大学に進み、  
琉球史を専攻。在学中に神職  
資格取得。合同会社 T.R.F  
(発掘会社) 代表社員、備前  
国総社宮神主。



賀数 仁然 かかず ひとさ  
那覇市出身。琉球・沖縄史研  
究家、琉球・沖縄歴史文化研  
究所 クボウグランド主催

## 「地域研究公開講座」について

沖縄大学地域研究所には、本学教員及び特別研究員、その他の研究協力者で構成された研究班があります。それぞれ、地域の役に立ちたいという想いで地域研究に取り組んでいます。

本研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的とし、全ての研究班が地域研究公開講座を実施しています。研究班活動の内容や対象とする課題等について、皆様に分かりやすくご紹介させていただきます。今年度は全9班の地域研究公開講座を開催します。(裏面参照)

## ★視聴無料★ 2/12(水)までに要事前申込

### 申込先【Googleフォーム QRコード】

本学HPの「イベント」からもお申込みいただけます。  
氏名・連絡先・所属等、必要事項を入力の上送信してください。  
お申し込みされた方には、2/13(木)までに、申込受付メールを送信します。メールが届かない場合は、2/14日(金)14時までに沖縄大学地域研究所までお問い合わせください。

※ 講座終了後、アンケートの回答にご協力ください。  
申込受付メールで 回答フォームURLをお送りします。



問い合わせ先: 沖縄大学 地域研究所  
住所: 沖縄県那覇市国場405番地  
沖縄大学アネックス共創館2階  
窓口: 平日8:30~17:15(12:00~13:00 閉室)  
Tel: 098-832-5599  
Mail: chicken-staff@okinawa-u.ac.jp

# 2024年度 沖縄大学地域研究公開講座 一覧 (12月17日現在)

※詳細が決まり次第、本学HPよりご案内いたします。

	開催予定日	研究代表者名	研究名	研究内容要約
1	7月10日(水) 13:00~14:20	王志英 (国際コミュニケーション学科)	沖縄県、離島における中国語標識・案内板確認について	沖縄県内外、離島における中国語、英語標識・案内板について調査し、間違っていた中国語や英語を訂正する。
2	8月26日(月) 16:00~17:30	系数 哲 (経法商学科)	沖縄県を中心にした「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる総合的研究	沖縄本島および離島をベースにしながら、様々な災害概念を対象として幅広く地域研究を行い、「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる文理融合の学際的・総合的研究を進めていく。
3	9月13日(金) 17:00~18:30	西 章 (福祉文化学科)	沖縄大学「いのちの未来の平和学」プロジェクト	2022年2月末のウクライナ戦争から始まった国際秩序の揺らぎもあり、沖縄大学が「平和と反戦」を強く発信していくような流れを作っていきたい(学び舎)として平和教育を実践していくことを目的としている。沖縄大学の有志が集まって月一回のペースで地域市民の方々にも門戸を広げ、フォーラムやワークショップを企画運営し、沖縄大学から「平和と反戦」の実践活動を発信していく。
4	11月20日(水) 15:00~16:30	盛口 満 (こども文化学科)	離島における教育連携	地理的に不利な離島地域と大学機能(大学生による出前授業と地域交流)を連携することにより、「離島における教育機会」の課題を整理し、同時に大学機関で今後どのように地域と連携できるか模索する。
5	12月4日(水) 16:00~17:00	若林 千代 (経法商学科)	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法—戦後史研究の実践から問い直す—	沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とは言い難い。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。
6	1月16日(木) 14:40-16:10	宮良 恵美 (管理栄養学科)	島コショウの伝統的な栽培・利用方法とその食品機能を活かした商品開発	島コショウ(ピーパーズ)は、沖縄、特に八重山諸島において古くから栽培され、地域住民に親しまれてきた香辛料であり、その芳醇な香りと健康効果が注目され、近年では全国的に再評価されている。島コショウの有用成分分析や、その成果を活かした商品を開発する。
7	1月22日(水) 16:30-17:30	富山 侑美 (経法商学科)	沖縄県の臓器移植に関する法・政策・倫理—より多くの命を救うために—	移植でしか救命出来ない命を救うための臓器提供が十分ではない現状に鑑み、献腎移植全国1位となったことのある沖縄県での臓器提供推進の取り組みを分析し、政策提言を行うことで、よりよい医療環境の構築を目指す。
8	2月1日(土) 13:30-16:00 ※土曜教養講座(対面)	豊川 明佳 (経法商学科)	沖縄の地域産業を牽引する企業におけるブランド志向の実践とアクションリサーチ	本研究は、ブランド・アイデンティティの「共創」を中心に据えたコーポレート・ブランディングの実践を行う沖縄県内の企業を対象とし、市場志向からブランド志向への変革と実践へ向けての一連のプロセスを考察する。
9	2月15日(土) 14:00-16:00	宮城 能彦 (こども文化学科)	琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究	現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷(特に近世と近代)を考古学と歴史学と社会学の視点から明らかにする。